

令和8年7月24日(金)

サンビレッジ国際医療福祉専門学校 言語聴覚学科 1 年生が 施設実習に来ました。

令和8年7月24日(金)、サンビレッジ国際医療福祉専門学校の言語聴覚学科1年生 14 名が施設実習に来ました。はじめは緊張した様子でしたが、子ども達と活動を共にする中で、いつしか緊張もほぐれ、充実した実習になったようです。

また、次のような感想をいただきました。

・子どもと接する時のコツや、子どもの立場になって考えることの大切さを学んだ。子どもが嫌だと言った場合は強要せずに、別の選択肢を提案することが大切だとわかった。また個別指導で、一人一人に合わせたペースで対応できる点は、保育園等と違ってとてもいいところだと思った。

・個性豊かな子どもたちがたくさんいて楽しかった。子どもに制限をかけるのではなく自由に動かせ、やりたいことを尊重することが、今後の発達にもつながるんだと思った。

・子どもと先生だけでなく、親御さんも一緒になって行動したり、遊んだりしていた。また「もとす広域連合」という、地域に密着したサービスが整っている施設であることもとても魅力だと感じた。

・それぞれの子どもの特徴をしっかり把握していて、発達に合わせたプログラムを立てることで、子どもがより楽しめたり、意欲的にいろいろなことに挑戦できるとわかった。将来は小児と関わることができる仕事がしたいので、この経験が今後活かせるといいと思う。

・子どもとの関係は「話すこと」が一番最初だと思っていたが、一緒に遊ぶことで仲良くなれる子もいて、正解はないんだと感じた。

・「訓練では、できないことをできるようにするために様々な作業を行うが、療育では、子どもたちのできることや得意なことを伸ばして自己肯定感を高め、自分で成長していくことをサポートしている」との先生の言葉がとても印象に残った。

ご理解とご協力ありがとうございました。